

令和3年度 第3回九州森林管理局保護林管理委員会議事概要

1 日時 令和4年2月14日(月) 13:30~16:00

2 場所 WEB会議システム

3 議事

(1) 令和3年度第2回保護林管理委員会における意見概要と対応について

(2) 令和3年度保護林モニタリング調査結果について

(3) 重点的対策実施保護林の取組状況について

(4) 令和4年度保護林モニタリング調査実施箇所(案)について

(5) 緑の回廊に係る設定方針の改定等について

(6) 屋久島低地照葉樹林調査の中間報告について

(7) その他

4 議事の概要及び主な意見等

(1) 令和3年度第2回保護林管理委員会における意見概要と対応について

2021年11月に宮崎県綾町にて行われた現地検討会及び第2回保護林管理委員会における意見概要とその対応について説明。

(2) 令和3年度保護林モニタリング調査結果について

令和3年度にモニタリング調査を実施した12保護林について調査結果概要を説明。

委員：奄美大島ではノヤギ、徳之島ではノイヌ、ノネコが大きな問題になっていると思うが、モニタリングにおける外来種に対する視点を教えていただきたい。

事務局：外来種がモニタリングにおいて観察された場合は、環境省に速やかに情報提供することとしている。なお、本保護林の次回以降のモニタリング結果は、世界自然遺産の科学委員会において報告させていただく考え。

委員：稲尾岳森林生態系保護地域の保護林では、当該地域に生息する地域個体群のシカによる被害の兆候は見られるか。

事務局：シカによる食痕はあるものの、本保護林内では被害は確認されていない。保護林周辺の低地集落周辺では頻度の高いシカの目撃情報があるため、今後注視していく考え。

委員：イヌツゲは、シカの高嗜好性植物でえびの高原ではシカが増えたときに最初に食害を受けていることから、雲仙の野岳イヌツゲ希少個体群保護林でも注意した方がよい。

委員：青井岳カヤ等遺伝資源希少個体群保護林におけるアブラギリの侵入について、状況を教えてほしい。

事務局：プロット内のギャップ下の明るい環境で1個体確認されている。確認個体については、早急に署で除去することとなっている。

(3) 重点的対策実施保護林の取組状況について

重点的対策実施 17 保護林における柵設置及びシカ捕獲数等の実施状況について説明。

委員：シカ被害レベルが上昇した大森岳生物群集保護林では新たな植生保護柵は設置していないのか。

事務局：新たな柵は設置していないが、現在捕獲圧を高めているところ。林道がシカの移動ルートになっていることからゲートの設置について検討する考え。

委員：シカ柵も一つの大きな対策としてやっているが、事務局からメンテナンスが大変だという話がある。一般の人たちから修理の必要情報の提供を受けるなど、地域と協働したメンテナンスの取り組みの工夫をお願いしたい。

委員：ニホンカモシカの錯誤捕獲を避けるような取組をお願いしたい。

(4) 令和4年度保護林モニタリング調査実施箇所（案）について

令和4年度にモニタリング調査実施予定の13保護林及び各保護林における調査手法・調査項目について説明し、承認された。

委員：鬼の目山生物群集保護林では、天然スギの生態的な中心地にプロットを設定していただきたい。

事務局：現地の状況も踏まえて検討させていただく。

(5) 緑の回廊に係る設定方針の改定等について

緑の回廊の評価項目における調査すべき具体種及びこれらの種ごとの留意すべき事項等について説明。

委員：猛禽類と渡りをする鳥類における具体種ごとに留意すべき事項については、一部内容を修正した方が良いものがあるので、後日お知らせする。

委員：事業者の調査対象が、調査すべき具体種として明記されている種だけでないことは理解できたが、県の希少種として指定されているものについては注視してもらうことが必要。

委員：植物相では全ての科が新しい分類体系されていないので、別表1のように種名以外に科名も載せるかどうかについては、全局的に統一したほうがよい。

委員：IUCN レッドリストについても記載が可能であればお願いしたい。

(6) 屋久島低地照葉樹林調査の中間報告について

屋久島低地照葉樹林の適切な保全管理に向けた今後の対応として、該当地域の機能類型を自然維持タイプとする選択肢も含め、慎重に判断する必要があると説明。

委員：今後の対応について理解した。地元の関係者等と意見交換をしていただきたい。

委員：特別な自然維持タイプであることを記録する方法はあるのか。

事務局：森林計画の中に記載するとともに、関係者間で定期的に行うこととしている意見交換会の中で確実に情報を引き継いでいければと考えている。



《配布資料》

【資料 1】 令和 3 年度第 2 回保護林管理委員会における意見概要とその対応について

【資料 2-1】 令和 3 年度保護林モニタリング調査結果（一覧表）

【資料 2-2】 令和 3 年度保護林モニタリング調査結果（概要）

【資料 3】 重点的対策実施 17 保護林に関する対策実施状況について

【資料 4-1】 令和 4 年度保護林モニタリング調査 調査箇所及び調査項目（案）

【資料 4-2】 保護林モニタリング調査計画一覧表

【資料 5-1】 評価項目の調査すべき具体種及びこれらの種ごとの留意すべき事項等に関する考え方

【資料 5-2】 大隅半島緑の回廊の設定『評価項目－【調査すべき具体種並びに調査すべき情報及び調査時期】（案）及び【確認ポイント】（案）

【資料 5-2_別紙 1】 大隅半島緑の回廊評価項目－希少ないしは重要な植物群落の保護に関すること－＜植物種の保護＞の調査すべき具体種リスト

【資料 5-2_別紙 2】 大隅半島緑の回廊評価項目－典型性注目種（地上性の営巣・採餌のギルド鳥類）

【資料 5-3】 綾川上流緑の回廊の設定『評価項目－【調査すべき具体種並びに調査すべき情報及び調査時期】（案）及び【確認ポイント】（案）

【資料 5-3_別紙 1】 綾川上流緑の回廊評価項目－希少ないしは重要な植物群落の保護に関すること－＜植物種の保護＞の調査すべき具体種リスト

【資料 5-3_別紙 2】 綾川上流緑の回廊評価項目－典型性注目種（地上性の営巣・採餌のギルド鳥類）

【資料 6】 屋久島低地照葉樹林調査の中間報告について（希少種情報掲載のため非公表）

令和3年度 第3回九州森林管理局保護林管理委員会 出席者名簿

	氏名	所属・役職	
委員	岩本 俊孝	宮崎大学 名誉教授	
	河野 耕三	綾町役場 エコパーク推進室 照葉樹林文化推進専門監	
	佐藤 和歌子	特定非営利活動法人 ^{もり} 森林をつくろう 理事長	
	鈴木 英治	鹿児島大学 国際島嶼教育研究センター 特任教授	
	塔村 真一郎	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所長	
	浜本 奈鼓	特定非営利活動法人 くすの木自然館 代表理事	欠
	平井 郁明	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 九州育種場長	
	藤掛 一郎	宮崎大学農学部 教授	
	横山 隆一	公益財団法人 日本自然保護協会 参与 日本イヌワシ研究会副会長、奥利根自然センター代表	途中参加
	米田 健	鹿児島大学 名誉教授	
九州森林管理局	小島 孝文	局長	
	山根 則彦	計画保全部長	
	河邊 喬	計画課長	
	長渕 直	保全課 企画官（自然再生）	
	本田 勝美	〃 野生鳥獣管理指導官	
	甲斐 和幸	〃 鑑定官	
	藤原 昭博	計画課 生態系管理指導官	
	興梠 美喜夫	〃 森林施業調整官	
	藤川 涼一	〃 経営計画官	
	松永 雄治	〃 生態系保全係長	
	梶原 勝	〃 生態系保全係	
樋口 浩	〃 行政専門員		
受託者	中園 朝子	㈱九州自然環境研究所 所長	
	城戸 美智子	〃 主担当者	
	塩谷 克典	〃 野生動物保護管理室顧問	